

二王子通信 5月-6月号

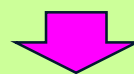
通所リハビリ室に鯉のぼりが泳いでいます。

通所リハビリをご利用されている方々の手作業の一つで、鯉のぼりを作りました。目は好きな形、鱗は好きな色や柄を使いながら、世界に一つしかないオリジナルの鯉のぼりが見事に完成いたしました。完成した鯉のぼりは色とりどりで、通所リハビリ室を優雅に泳いでいます(*^▽^*)



先月号より通信の名称を

通所リハビリ通信



二王子通信

に変更しました。今後は施設内の様子をお伝えできたらと思っております。

コロナウイルス騒ぎ（伝染病とワクチンと新潟の話）

今年初め世界中が都市封鎖を行う大騒ぎに展開するとは誰も心配していませんでした。県内で感染者が発生すると、入所者や見舞いのご家族、看護や介護士さん本人はもちろん家族に接触機会はないかと心配しています。テレビもニュースは新しい感染者の話と3密をはじめとした対策の話です。

しかし、人類の歴史を考えると人の交流が感染症の広がりを生んで、インカ帝国滅亡に見るように社会や生活を変えてきました。早くワクチンの開発が完成することを願います。

この病原菌に対する免疫という考え方はそんなに古い話ではありません。中世以降世界中を恐怖に陥れていた天然痘（痘瘡）のワクチンとして牛の天然痘から感染した人の採取液を植えることが始まりです。病原菌（ウイルス）が不明であった天然痘に免疫を得て治すことを英国人医師ジェンナーが実証したことは有名です。天然痘に苦悩していた世界中に広がりました。日本へは長崎の出島に伝わり、これが明治維新の直前、大坂の適塾門下生が新潟に持ち帰ります。幕府直轄地で今に残る税関で往時を偲ばれる5港として開港したばかりの新潟では、そこで得た関税をもとに、西堀通正福寺に種痘所（施蘭薬院：新潟大学医学部の前身）を設けます。ジェンナーから200年を経て、今評判の悪いWHOは世界中から天然痘が消滅いたと宣言します。伝染病との人間との戦いは長い時間を要し、繰り返されるものであることを思い出させられました。

日本整形外科学会専門医・日本整形外科学会認定スポーツ医

二王子温泉クリニック 院長 古賀良生

～お尻・太もも・ふくらはぎの体操～

運動不足の解消を！！

コロナウイルスの流行により、外出の機会が減っている皆様に家でできるトレーニングを紹介します。今回は歩行や階段で使う筋肉を鍛えて運動不足を解消しましょう。



①壁に片方の手をついて立ち、息を吐きながら反対側の膝をおへその高さまで上げる。



②息を吸いながら脚を45° ぐらいの角度まで下ろす。ゆっくり10回繰り返す。



※余裕がある場合、壁から手を離すと効力が上がります。

社団 M&B collaboration
介護老人保健施設

二王子

お問い合わせ TEL 0254-25-3737 (担当：大橋)

FAX 0254-25-3540

〒957-0332 新潟県新発田市虎丸452

URL: <http://www.mbc.or.jp/ninohji/>

編集後記

暖かく晴れの日が多くなり木々の葉の新緑を感じられる季節になりました。外を眺めると気持ちがいいですね。梅雨が来ないといいのですが…。

検索してね！

老健二王子

検索

